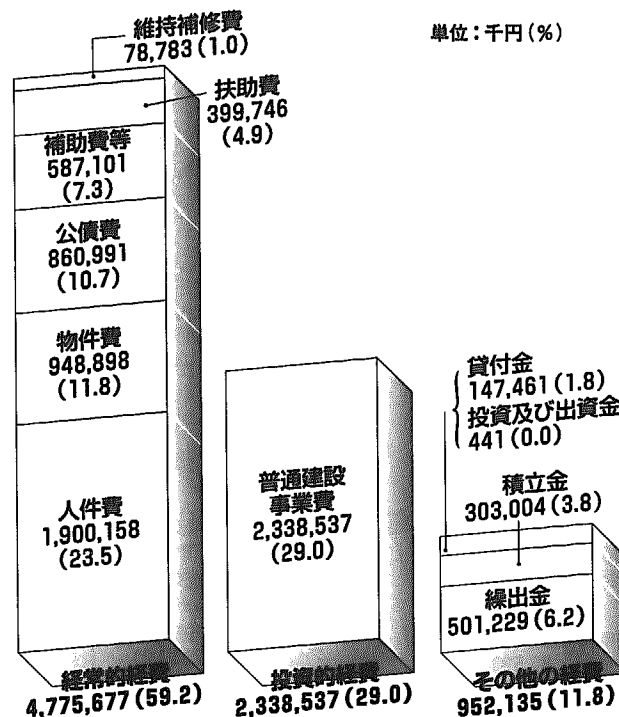
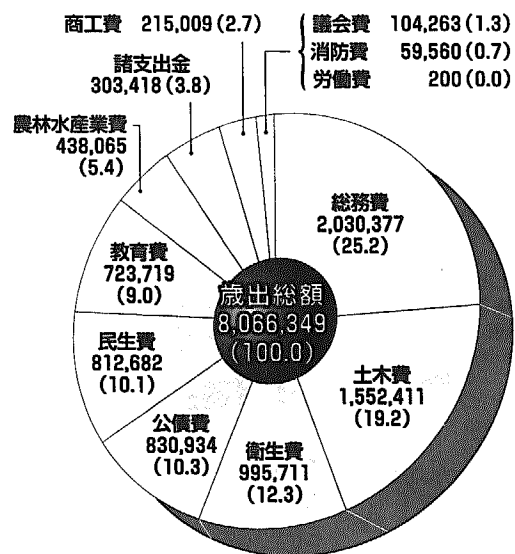


### 歳出 80億6634万9千円



単位：千円 (%)

### 目的別

### 歳出の内訳

**総務費** 20億3037万7千円 (前年度より+9556万9千円、+4.9%) 町職員給与8億6588万2千円、町職員手当等6億6468万4千円、財産管理費5792万1千円、賦課徴収費5563万2千円、企画費1783万9千円、交通安全対策費1484万5千円、戸籍住民基本台帳費1470万1千円、町史編さん費1024万2千円、地域振興券交付事業費及び事務費976万7千円、選挙費724万7千円、町制25周年記念事業費672万5千円、監査委員会費183万3千円、統計調査費166万円など

**土木費** 15億5241万1千円 (前年度より+7638万2千円、+5.2%) 町道の整備9億4512万3千円、下水道事業特別会計繰出金2億6580万1千円、排水ポンプ場の設置及び改修工事等1億4007万7千円、国・県道の整備(負担金)3584万2千円、除雪委託料2842万7千円、都市下水路費1927万円、公園事業費436万9千円、黒崎南LC周辺開発構想調査委託304万5千円など

**衛生費** 9億9571万1千円 (前年度より-3億1536万7千円、-24.1%) 黒崎町一般廃棄物減容化処理施設整備工事費2億7261万9千円、新潟地区広域清掃事務組合負担金2億5668万9千円、ごみ・尿収集委託料1億2689万3千円、乳児・幼児医療費助成2453万円、黒崎町一般廃棄物最終処分場維持管理費1600万2千円、

保健センター管理費1181万4千円、妊婦・乳幼児健診及び保健指導832万9千円、防疫薬剤費補助203万6千円など

**公債費** 8億3093万4千円 (前年度より+7057万7千円、+9.3%) 町債の返済

**民生費** 8億1268万2千円 (前年度より+1億146万9千円、+14.3%) 老人ホーム入所委託料1億4826万8千円、大野保育所改修事業7959万円、ホームヘルプサービス・デイサービスセンター事業及び老人福祉センター運営5826万5千円、児童手当3921万円、重度心身障害者医療扶助費1774万4千円、社会福祉協議会補助金1011万6千円、介護保険事務電算処理運用方式開発事業費925万1千円、市町村介護保険事業計画推進事業費741万1千円、わくわくクラブ運営事業318万1千円など

**教育費** 7億2371万9千円 (前年度より-1億1819万8千円、-14.0%) 総合体育館改修事業1億1915万2千円、学校給食費4109万6千円、公民館費2944万1千円、中学校改修事業2600万3千円、小学校空調整備設置事業2430万8千円、社会教育総務費1405万円、小学校コンピュータ機器借上料960万7千円、ふれあい教育センター事業費541万7千円、文化財保護費439万6千円、図書購入費379万1千円、青少年問題対策費356万円など

**農林水産業費** 4億3806万5千円 (前年度より+5625万2千円、+14.7%) 農村総合整備事業費2億1180万5千円、緊急生産調整推進対策費4721万6千円、農業振興費2731万3千円、農村環境改善センター管理費1994万2千円、農業委員会費1579万9千円、町民農園事業費158万4千円など

**諸支出金** 3億341万8千円 (前年度より-4824万3千円、-13.7%) 都市整備基金積立金1億6252万1千円、財政調整基金積立金9538万2千円、教育施設基金積立金4046万7千円など

**商工費** 2億1500万9千円 (前年度より-5009万8千円、-18.9%) 産業育成資金と商工業近代化資金等の貸付金1億4701万1千円など

**議会費** 1億426万3千円 (前年度より+644万1千円、+6.6%) 議員報酬5896万8千円、議員期末手当2288万7千円など

**消防費** 5956万円 (前年度より+499万9千円、+9.2%) 防火水槽設置工事630万5千円、消火栓新設・移設・修理525万円、水難救助用資器材110万2千円など

**労働費** 20万円 (前年度と同額) 新潟県労働者信用基金協会出損金20万円

# 町づくりのために

## 80億円使いました

福祉や教育施設の充実、道路や下水道の整備など町が各種の事業を行うためには、たくさんのお金が必要で、そのお金は、町民の皆さんからいただく税金や国県からのお金(これも税金です)あるいは借金(町債)などではないです。

町は、お金がいくら入ってきて、それを何に使うかの計画を年度初めに立てます(当初予算)。また、必要に応じて予算を修正します(補正予算)。平成10年度の当初予算は72億6000万円です。スタートし、補正を経て最終的に87億4243万3千円になりました。

決算とは、こうした予算をどのように使ったかを表したものです。平成10年度に町に入ってきたお金(歳入)とい

ます)は84億7722万2千円、町が使ったお金(歳出)といは80億6634万9千円でした。前年度に比べると、歳入は5454万4千円(0.6%)増額し、歳出は1億2021万7千円(1.5%)減額しました。歳入と歳出の差額4億1087万3千円は次年度、つまり平成11年度に繰り越されました。

歳出の内訳は左下の表をご覧ください。町道や学校施設などの整備のほか、町職員の給与、公債費(町債の返済)などに使っています。

また、歳出を性質別に見たのが左の棒グラフです。人件費や借金の返済である公債費など必要不可欠な経費を経常的経費といはいます。経常的経費は総額47億7567万7千

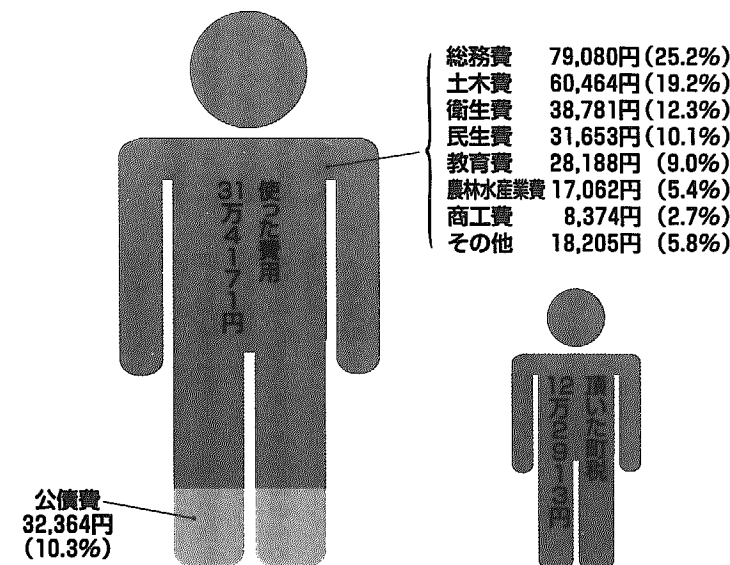
円です。歳出総額の59.2%を占めています。前年度より2億1344万円、4.7%増えています。物件費や扶助費などの増加によるものです。

歳入の内訳は6ページの表のとおりです。歳入のうち町税や繰入金など町だけでまかなえる財源を自主財源といは、歳入の50.2%(前年度比2.5%減)を占めています。

自主財源で足りない分は国県の支出金や町債でまかなうこととなります。これを依存財源といは、49.8%(前年度比2.5%増)を占めています。

町民一人当たりでは町税を12万2913円納めていたとき、31万4171円使ったこととなります。差額は国県の補助金、借金でまかっています。

### 町民1人当たりでは (人口は平成11年3月末日の25,675人)



平成10年度の町の一般会計と4つの特別会計の決算がまとまり、昨年の12月議会承認されました。

決算は町の家計簿といえるもので、平成10年4月1日から平成11年3月31日まで町にお金が入り入ってき、何にどう使ったかをまとめたものです。

一般会計の決算額は歳入84億7722万2千円、歳出80億6634万9千円、4億1087万3千円を平成11年度に繰り越しました。